ROTARY CLUB of KOBE EAST 65TH

Rotary Club of KOBE EAST

The Rotary club of Kobe East BULLETIN

神戸東ロータリークラブ会報 | No.389 2018-2019 No3

表紙絵：太原　震也元会員

会　長／澤田 正樹　副会長／福原 敏晃　幹　事／山本 康一郎　広報委員長／小谷 哲也　副委員長／河崎 光

例会場：ホテルオークラ神戸　　例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ　「共に一緒に心の手つないで行動しよう」

Get Engaged Together Hand in Hand with United Hearts

インスピレーションになろう

RI President

BARRY RASSIN

2018-2019年度国際ロータリー会長

2018-19 年度神戸東ロータリークラブ
第 65 代会長　澤田　正樹

今年度、最終例会まで辿り着くことができましたのは、皆様からいただいたご厚情の賜物と思っています。心から感謝申し上げます。

当クラブは、今年度は、ご存じのように創立 65 周年の節目の年でした。ただ、クラブの本会計は、危機的状況に近づいていましたので、周年事業を行うには厳しいかなと当初悩みました。しかし、60 周年以降、新しい会員が 1 ／ 3 を占めてきているなかで、クラブの考え方を共有して一体感を生み出す何らかの活動をしないといけない時期に来ていると感じていましたので、クラブの元気活力がアップするアクセントの年にしようという思いに至り、それには、創立 65 周年事業をするのがいいと決心しました。ロータリーは親睦を基礎として、職業奉仕を中心とした 5 大奉仕事業を行う奉仕活動団体だと思っています。この根本にあるのは、Ideal of Service、奉仕の理想です。奉仕の理想、すなわち「相手を思いやり、必要なら手を差し伸べる」ということです。そこで、創立 65 周年は、奉仕の理想を前面に押し出し、新しい奉仕事業を策定することにしました。事業費は本会計とは独立したニコニコ箱奉仕金会計を活用させていただくことにしました。平成 31 年 11 月 3 日、4 日地区主催のロータリーデー「兵庫フェスタ」が開催され、松井照男奉仕プロジェクト委員長の獅子奮迅の活躍もあり、神戸東ロータリークラブは大いに貢献いたしました。また、クラブの新事業として、車いすテニスの社会奉仕事業、カンボジアからの VTT 国際奉仕事業、メキシコからの留学生受入の青少年奉仕事業を柱に据えることに決めました。これらの事業は、各奉仕委員会委員長の熱意とともに、活動は活力に満ちあふれ、事業は成功裏に進んだと思っています。このように、各奉仕委員会活動が活性化されるにつれ、ロータリー財団委員会や米山記念奨学委員会の活動も積極的になり、多くの寄付金、浄財をいただくことができました。また、家族委員会、親睦委員会、プログラム委員会、週報委員会、広報委員会の動きも活発になり、クラブ内が一つになりしっかり活性化されていったと感じています。一方、創立 65 周年の全般の事業を統括し、記念事業として取りまとめていただく実行委員長は乙守典厚元会長にお願い致しました。クラブ内の雰囲気、機運、活力が活性化されアップする流れの中で、乙守実行委員長のリーダーシップのもと、実行委員会の皆様の気持ちも一点に集中し、一気に 4 月 16 日の記念式典祝賀会に盛り上って行ったように思います。「天の時、地の利、人の和」全てが調和した瞬間だったと思っています。多くの方から、記念式典祝賀会は良かったとお褒めのお言葉を頂戴いたしました。創立 65 周年事業を行って良かったなと心底感じました。神戸東ロータリークラブの底力を垣間見た気がします。一方、これらの事業を支えていただいたニコニコ箱奉仕金も、SAA の吉井正幸直前会長のご尽力もあり、多額のご奉仕をいただきました。本当に、クラブ全体に活気が満ちあふれた一年でした。ただ、これらの事業が完遂され、6 月に入り、会費値上げという嬉しくない案件をお願いしないといけない状況にも、皆様のご理解をいただけました。これも、副会長の福原敏晃さん、幹事の山本康一郎さんはじめ、理事役員の方々、多くの皆様に支えられたお蔭と思っています。改めて、心から感謝申し上げます。

副　　会　　長
クラブ管理運営委員長　福原　敏晃

私は、2018 年 7 月～ 2019 年 6 月澤田年度において、会長の指名により当会副会長に選任され、このたび副会長の任期 1 年が経過しまして、退任させて頂くことになりました。この 1 年間、会長はじめ役員、会員の皆様にはご指導、ご協力、ご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今年度は創立 65 周年の、澤田会長曰く、小さな節目の年でした。大きな節目の年のために大きな予算は温存し、小さな予算で出来ることに専念をしました。クラブの親睦や奉仕活動で培った信頼友情を確固たるものにし、一緒に行動し元気活力をアップするアクセントの年となるよう、様々な事業活動が実施されました。

特に 65 周年記念事業は心に残る素晴らしいものでした。クラブ管理運営委員会の委員長として 2 年目を迎え、クラブの円滑な運営を助けるように心掛けました。例会の出席率の向上を掲げ、目標の 85％を達成できたことは、皆様の並々ならぬ協力と努力と忍耐によるものと感謝の気持ちで一杯です。

次に 2 月 19 日、ワールド記念ホールにて開催された世界的なプロである上地結衣選手、右近憲三選手によるエキシビションマッチ、テニスクリニックには沢山の方にご来場いただき、また多数の報道機関の取材がありました。カンボジア子宮頸がん撲滅プロジェクトでは、3 月 17 日～ 4 月 1 日カンボジアから 5 名の病理技師を招聘し、神戸常磐大学での研修を受け入れました。彼らの手によって近い将来、子宮頸がんが撲滅できると確信を持ちました。いずれも成功裏に納めることができ、胸をなでおろしました。

そして、私が全身全霊を傾けた「お菓子工房で夢プロジェクト」。

3 年前の横山会長年度に私が生業とするお菓子作りで自立を目指す福祉事業所への支援プロジェクトが始まりました。コンテスト形式で支援先を選び、グランプリを獲得した「就労継続支援 B 型事業所ボレロ」への支援が決まると、地区補助金とクラブからの寄付金で製菓用のオーブンを進呈するとともに、早速私はお菓子作りの指導にあたりました。作業所を利用されている障がいを持たれた方々はとても素直で笑顔が輝いていて、指導に通う度に心が洗われる思いでした。

また、昨年の吉井会長年度には地区補助金域とクラブからの寄付金で内装工事も行い、商品もグレードアップするとともに、店舗も綺麗になり、売り上げは 3 倍に向上しました。

さらに、今年度、澤田会長に引き続きご支援頂き、販路の拡大を図ることができました。ここに改めてお礼の言葉を述べさせていただきます。

最後に、私がクラブの奉仕活動を通じて描いた大きな夢「2020 東京パラリンピックの参加選手に、障がいを持たれた方が作られたお菓子を届けたい」について報告事項があります。形は少し変わるかもしれませんが、実現できる可能性が出てきたのです。

残念乍らパラリンピックは 1 業種 1 スポンサーであるため、スポンサー外である私共がお菓子を届けることは不可能だと知りました。しかし、この話を聞いた兵庫県の障害福祉課の皆様のご尽力により、パラリンピックに向けて兵庫県内でキャンプを張る選手団に向けてなら、何かしらのアプローチが出来るかもしれないと、情報を下さったのです。これもまだ何の確約もない状況ではありますが、少しだけ光が差したことは間違いありません。

まとまりのないお話となりましたが、改めて、ここ 1 年間の副会長職へのご協力とご支援に感謝申し上げまして、退任のご挨拶と致します。

幹事
理事　山本康一郎

神戸東ロータリークラブの会員の皆様、一年間本当にお世話になり有難うございました。無事に幹事の大役が終えることが出来ましたのも会員の皆様の温かいご支援とご協力の賜と心から感謝申し上げます。

本年度の例会は、台風による臨時休会があり45回を開催し、本日の最終例会を迎えることが出来ました。また、例会を始め、各事業を協議、審議する理事・役員会議、クラブ協議会は予定者会議を含め都合24回開催いたしました。

この間、至らぬ点が多々あったのにも係わらず、澤田会長はじめ多くのメンバーと事務局に助けられ、事業が滞りなく、そして立派に花を咲かせることが出来ましたことに何よりも御礼申し上げます。

澤田会長の方針「共に一緒に心の手つないで行動しよう」の「心の手」とは大変意味深い言葉であります。クラブの例会、各事業に参加しメンバーと時間を共有することで感動を味わい互いの「心の絆」が自然と深まり、創立65周年を飾ることが出来たかと思います。

この1年間を振り返り私の趣味である山登りに例えると、澤田会長は65周年記念登山隊の隊長であり、一昨年から入念に登山計画を練るところからスタートをしました。各登攀リーダーの人選は、難攻不落のピークはベテラン隊員、馬力がいるピークには若手隊員と適材適所に登攀リーダーを選抜しました。一方では、遠征の資金集めに奔走し、幹事には隊全般のロジスティック担当を命じられました。

隊は昨年7月にベースキャンプを出発し登山を開始しました。キャンプ1、キャンプ2と慎重に高度を上げていく中、何度もクレパスや雪崩に遭遇し、キャンプ3では荒れ狂う猛吹雪のなかビバーグを余儀なくされました。隊長は、その都度、冷静に安全を確認し、そして、情報を適切に判断し、慎重に隊を進めました。多くのピークを越えながら難関の“車いすテニス山”をアタックし、次に未踏峰の“カンボジア山”を粘り強く攻略し初登頂に成功しました。途中には他隊とも合流し、“ひょうご五国山”にも合同登頂し我が隊の評価を一層高めました。そして、今回の最高峰である“ロータリー65東峰”を登頂すべく最終アタックキャンプを設け、4月16日に無事に登頂いたしました。苦労のかいあっての登頂は感動が大きく、登山隊はもとよりサポートして頂いた全員で喜びを分かち合いました。

澤田隊登頂成功の要因は、綿密な計画と周到な準備、アクシデントに遭遇しても経験に基づく決断、それらを受け入れるメンバーとの厚い信頼、そして、全隊員並びに多くのサポートメンバーがそれぞれの役割を認識し、責務を果たしのでチームとして機能したものと思います。今、全員無事に下山し登山隊を解散しますが、誇れる登山隊であったと思います。

いよいよ7月からは須藤年度が始まり、新たな山登りが始まることと思います。本年度の活動が新たなルートとなって次年度が素晴らしい1年となりますことを祈念し退任の挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

創立 65 周年記念式典・祝賀会を開催しました

＜実行委員会・雑感＞

今回の式典・祝賀会の為に、実に 5 回の実行委員会と 6 回の実務者協議会を開催し詳細な打ち合わせを致しました。当初こそ手探り状態で協議も紛糾しましたが、打ち合わせを重ねるごとに、着実な進展を実感致しました。乙守実行委員長の強いリーダーシップもあって、いつの間にか全員参加型の大きな流れが出来た様に思います。特に式典・祝賀会当日の現場での打ち合わせについては、当クラブ会員が与えられた役割の中で、きっちりと職務をこなしているのを目の当たりにし、式典が始まる前に当日の成功を確信した次第です。静寂な雰囲気と緊張感の中でオープニングビデオが投影され、我がクラブの創立時から現在までの歴史の重みを実感する事に始まり、司会の菅野会員の開催宣言があり、その後粛々と式次第が進行致しました。

特に今回、我々神戸東ロータリークラブが職業奉仕を最重要テーマにすると宣言し古き良き時代のロータリー理念を参加された皆様の前で訴えることが出来たのは、式典・祝賀会を開催するに当たって、特に一番目指してきた事と思っておりました。

最後に閉会宣言がなされ、参加者全員で「手に手つないで」を合唱する場面になり、当クラブの皆さんの表情を伺っておりましたが、その表情は皆さん最高の笑みを浮かべ、一つの事を成し遂げた達成感を感じさせるものでした。

我がクラブは創立以来 65 年の時を経て、今回の式典・祝賀会を通過点として今後創立 70 年・80 年・・・100 年に向かって動き出しました。小さな個人の思いと行動力を結集する事が大きな流れとなり、困難に打ち勝つ力になるという事を感じることが出来る式典・祝賀会になったと思います。

最後に一言「神戸東の皆さん、本当にご協力ありがとうございました。」

（創立 65 周年記念事業実行委員会
副委員長　大澤　　勇）

神戸東ロータリークラブ創立 65 周年記念　奉仕プロジェクト
「上地結衣さんと車いすテニスを楽しもう!」を開催しました

2019 年 2 月 19 日の午前中にワールド記念ホールのアリーナを貸し切り、プロ車いすテニスプレイヤーの上地結衣さんを招聘し、神戸市立友生支援学校から約 30 名の生徒さんを招待して、車いすテニスの試合を間近で観戦してもらい、その後、上地プロや車いすテニス協会の選手たちの指導のもと、車いすテニスを体験してもらうイベントを開催しました。参加した友生支援学校の肢体不自由児に健常者と交流する機会を増やし、社会参加に対する意欲を促進することを目的としており、より多くの生徒に車いすテニスを身近に感じてもらうために、友生支援学校へ遊戯で使えるテニスセットを寄贈いたしました。また、車いすテニスで社会進出を目指す肢体不自由児が本格的にトレーニングを行う機会を増やすために、ブルボンビーンズドームへ車いすテニス用の子供用専用車両を一台寄贈しました。資金、運営にご尽力いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。　　（社会奉仕委員長　石原　　守）

グローバル補助金 VTT（GG1981392）
カンボジアにおける病理人材育成プロジェクト

研修期間：3 月 17 日（日）～ 4 月 1 日（月）研修場所：神戸

GG1981392 代表連絡担当者　**松谷　齊泰**（神戸東 RC）

このプロジェクトの目的はカンボジアにおける出生率を高めることにあります。その大きな阻害要因の一つとして女性の子宮頸がんによる死亡率の高さであると言われております。子宮頸がん率を抑えるには病理の問題が大きな阻害要因で有りますが、カンボジア及び日本産婦人科学会の共同プロジェクトでは特に病理技師の質と共に量の不足が一番大きな要因であることが指摘されております。

昨年 6 月に 3 つのカンボジア国立病院を訪問・調査の結果、同じ結論に至りました。そこで、神戸東 RC とプノンペンメトロ RC が提唱クラブとなって、カンボジア病理技師に、神戸国際医療交流財団、カンボジア産婦人科学会そして神戸常磐大学の協力のもと 2 週間の研修を行い、この分野の人材を育成することにしました。特に病理技師の質を高めるため、今までカンボジアの病院の現場では不明確にされていた質の高い病理標本を創るための手順書を作成することになりました。手順書に添って作成される質の高い標本はカンボジアにおける病理全体の問題を解決する大きな一助になるだけでなく、将来の人材育成に大いに貢献するものと思われます。今後は 8 月にフォローアップとしてカンボジアを訪問し、神戸での研修を評価し、セミナーを開催する予定です。

このグローバル補助金を獲得するに当たり、矢野ガバナー始め多くの方々のご指導、ご援助を頂きました。さらに神戸 RC、神戸西 RC、神戸南 RC、神戸東灘 RC、神戸六甲 RC、神戸ベイ RC 様より多額の拠出金を頂きました。これらのご支援なくして、このプロジェクトは成り立たなかったと思います。大変感謝しております。

（国際奉仕委員長　松谷　齊泰）

創立 65 周年の１年間を振り返って 第２回会員親睦会を開催しました

６月 25 日（火）最終例会の夜、第ニ回会員親睦会をメリケンパークオリエンタルホテル SEA’S で開催しました。天気にも恵まれ夕暮れの海の眺望も素晴らしく、澤田会長の挨拶、執行会員の乾杯、和やかなムードでホテル自慢のフランス料理に舌鼓。今回は、「クラブの１年間を振り返って」と題しまして、各行事のスライド写真を映しながら、委員長、副委員長にマイクでコメントを頂きました。行事で大変だった事、嬉しかった事、お礼の言葉、色々とエピソードもあり、懐かしく楽しいひと時でした。続いてクラブの同好会の活動写真のスライドを映しながら世話人の方からのコメントです。お酒も進み次第にヒートアップして笑いの絶えない大いに盛り上がった親睦会となりました。新入会員の自己紹介もいつもより力が入っていたように思います。山本幹事の閉会挨拶、最後は友藤ソングリーダーによる「手に手つないで」を全員で元気よく斉唱しました。突然のコメント依頼に快く？お応えいただきまして有難うございました。

（親睦委員長　香山　道宣）

ROTARY CLUB of
KOBE EAST
65TH

第 24 回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭
令和元年 5 月 25 日 福井県郡山市にて

令和元年 5 月 25 日福島県郡山市にて全国から 28 団体 500 名以上の参加をもって開催された第 24 回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭に西村、片桐両先生、会員、むつみ会、応援団の総勢 28 名で参加しました。当日出発組の到着時刻が心配されましたが、飛行機ー貸切バスの乗り継ぎで無事開演前の練習にも間に合い、全員が万全の体制で本番を迎える事が出来ました。今年は NHK 連続テレビ小説「だんだん」の挿入歌「いのちの歌」とザ・ワイルドワンズの「想い出の渚」の 2 曲を歌いあげ、演奏終了後の講評では元国立音楽大学助教授でバリトン歌手の鈴木惇弘先生から「私の好きな合唱」との賛辞を頂きました。合唱祭終了後の恒例の懇親会では全国からの大勢の参加者とともに大いに盛り上がり郡山の夜を楽しみました。来年は名古屋での開催が決まり、新しい曲の練習も始まりました。今後ともコーラス同好会への応援をよろしくお願い致します。

（コーラス同好会　梅田　　稔）

創立 65 周年記念月間卓話アンケート調査「神戸東 RC の行方」

創立 65 周年実行委員会
特別委員会委員　中井　章詞

現在の当クラブ長期計画委員会は、神戸東ロータリークラブの中長期計画を企画・立案・検討するために、創立 55 周年事業の一つとして 2008 年野田会長年度にアドホック委員会として「未来委員会」の名称でスタートしました。

当時の未来委員会は、久野　薫初代委員長の下、活発な委員会運営がなされ、委員会が実施したロータリーに関する神戸東 RC の会員の意識調査のアンケート結果と共に詳細なる分析がなされ、さらに、これに基づく未来委員会の提言（その①）として創立 55 周年記念誌に詳しく記載されております。

更に、創立 60 周年では、5 年前に行われた意識調査のアンケートの一部を再度施行し、5 年の間に如何なる意識の変化があったかを分析し、来委員会の提言を生かす方策を検討し、提言（その②）としました。

今回、創立 65 周年を迎え、提言（その③）をまとめる為に各会員のご理解、ご協力を賜り、4 月 23 日（火）例会時にアンケートをさせて頂きました事を深く感謝致します。

今回のアンケート結果については創立 65 周年記念誌に須藤会長エレクトが今回を含め 3 回行ったアンケート結果を総合し分析されその詳細を掲載されます。

尚、アンケート回答者の母集団としてのロータリー歴別構成は、2008 年の回答者総数 77 名、2013 年 76 名、2019 年 81 名でした。過去 2 回の母集団のロータリー歴が 10 年以上 20 年未満の会員が多かったのに比べ、今回は、各歴の人数がほぼ均一になってきた点が違いました。

本稿では、各アンケート実施時のクラブの状況、特に、当クラブと地区、RI との関わりについて微妙に違う点を考慮し、その観点から地区、RI との関わりについて皆様にご判断いただきたく私見を述べさせて頂きます。

まず、2008 年当時、赤木ガバナー以来ガバナーから遠のいており、当クラブ会員は地区に対する関心に乏しかったのではないでしょうか。その結果、2008 年ではガバナー輩出について判らないと答えた会員が 50％で、出すべき 42％を超えている状況でした。そういった背景も有り未来委員会はガバナ―輩出の為に発足した一面を有しておりました。ところが、2013 年は、久野ガバナーを出して間もないころで、輩出すべきが 85％に足し、いいえと判らないは 10％未満という結果でした。一方、2019 年では、輩出すべきとどちらともいえないがほぼ同数で、わずかに出すべきが上回っている状況でした。また、自分はなりたくないが当クラブとしては地区委員、ガバナー補佐等を出すべきが 2013 年では 78％であったのに対し、出すべき 46％、何方ともいえない 43％となり、2019 年では地区とのかかわりが薄れて来た様に思われます。

この事は、神戸東 RC の未来は明るいと考えている会員が多いのに対し、RI の未来は何とも言えな

い、RI 主導のロータリーは、これでよいと思わない会員が 50％を超えている事にも表れているように思います。一方、ガバナー輩出の意義はクラブの結束、地区へのリーダーシップの為に必要と考えている会員が多いのも事実です。

これまでのアンケートから、神戸東 RC の会員さんは、会員の連帯感、前向きな姿勢、安らぎのあるクラブを理想的なクラブと考え、人間の品格、奉仕精神の高さを重視した会員増強を希望し、友情と繋がり、自己開発研鑽、地域社会への貢献を求めクラブに留まり、職業奉仕を基盤とし、社会・国際奉仕の理念も理解し活動続ける立派なロータリアンの集まりであることが解ったと言えると思いました。

Ａ　ロータリー歴に関する事

Ａ１）あなたのロータリー歴は

当クラブの特徴として、在籍者の入れ替わりが少なく、ロータリー歴の長い会員の割合が多いことがあげられる。在籍 30 年以上の会員数の上昇は、会員平均年齢の上昇に繋がる恐れがあるが、一方、昨今の会員増強委員会の頑張りにより在籍 5 年未満の比較的若い会員数も増加しており、平均年齢も低下の傾向にあることは喜ばしいと考えられる。

Ａ２）ロータリー入会の理由

在籍年齢を問わず入会理由は、1 番が友情と繋がり、2 番が自己開発 / 研修、3 番が仕事の発展、4 番が地域社会貢献となっている。ロータリーは奉仕クラブではなく、社交クラブであり、例会を通じて奉仕をするロータリアンを育てる所であるという、ロータリーの本質が当クラブ会員に暗黙の裡に根付いている証拠かと推察される。

Ａ３）ロータリーに留まる理由

この設問についても A2 と同じような傾向がある。但し、世界への貢献という項目を在籍 20 年近辺の会員が突出して挙げているのは、WCS の影響かとも思われる。

Ａ４）ロータリアンであることに誇りを感じますか

ほとんどの会員は押しなべて前向きな回答をされている。人間の三大欲求は、認められたい、役立ちたい、褒められたい、と言われており、当クラブの会員であることが、会員各位にとってこれらの三大欲求を満たせるようになっているのではないかと思われる。

Ａ５）ロータリーに魅力を感じますか

これもほとんどの会員は押しなべて前向きな回答をされている。クラブ入会理由と留まる理由に友情と繋がりが一番に上がっており、例会、親睦会、家族会や同好会等を通じて魅力あるクラブライフがおくられているのではないだろうか。

Ａ６）ロータリーを退会したいと思ったことはありますか

このグラフは実数表示であり、割合表示でないので、在籍 5 年から 20 年の会員で退会を考えたことがある会員数が右肩上がりの傾向があることは、その在籍年代の会員数の分布が同傾向にあることを考えるとほぼ一定の割合と考えられる。この部分は多分今まで離婚を考えたことがありますかと質問しても同様の傾向と考えられる。一方、1 年未満及び 30 年近辺については、在籍会員分布から見て特別な事情があると推測される。

Ａ７）ロータリー退会を考えた理由

各年代、仕事上及び出席困難、その他が多い。まず 1 年未満については、毎週火曜日昼の例会出席と仕事との両立に慣れていないことがあるかもしれない。また、入会前に思っていた事とは違い自分の経験に役に立たないか、或いは、自分の仕事も忙しいのにクラブの雑用が多く不満があるということも推察される。30 年近辺については、事業の不調、クラブライフのマンネリ化、新世代との意識の違い、

同世代の仲間の減少など別の理由が考えられる。

B　会員増強に関して

B１）ロータリーは会員数を増加させるべき

在籍の長い会員にどちらとも言えないという回答が多くなるのは、数よりも質を考えて欲しいとの意思表明と思われる。この問題は歴代の未来委員会や長期計画員会で議論され、まずクラブ運営の金銭的な面で事務局体制の根本的な見直しが必要となることから、100 名は最低維持したいこと、一方、神戸市の法人数（事業主）のキャパシティからみて一定の会員の質を維持するには 110-120 名程度が上限ではないかとの意見が出ていた。今後クラブ同志の合併の増加が見込まれるので、当クラブがどう対応していくかを議論しておく必要がある。

B２）会員増強するべき理由

全体として、クラブの活性化と異業種交流が挙げられている。10 年、20 年、30 年超に財務事情が挙げられているのは、幹事経験や委員会活動経験を通じて B1）に書いたようなクラブ運営の背景を理解している為と思われる。

C　会員に関すること

C１）数より質を向上させるべき

この設問への今回の回答の特徴は、いいえが全く無く、はいかどちらとも言えないである事。財政面や活発なクラブ運営には数が必用だが、数だけでないという気持ちがこの回答によく出ている。特に、2008 年、2013 年と比較し、昨今会員の増強が図られているので、一度神戸東 RC 会員にふさわしい質とは何かを考える時かもしれない。

C２）数より質を向上させる理由、会員の質の判断理由

では会員の質とは何なのかという問いへの答えが、全在籍歴を通じて、人間の品格、奉仕精神の高さ、社会的有名度、企業規模の大きさの順である。前問の入会や留まる理由が、友情と繋がり、自己啓発、仕事の発展であったことを考えると、奉仕精神の高さという回答の真意は奉仕委員会活動への熱心さと読み替えるべきかとも思われる。

D　クラブ奉仕に関すること

D１）ロータリーの未来は明るいと思いますか

全年代を通じてどちらとも言えないという回答が多い。以前のアンケートと比較しても、以前は、はいといいえが拮抗していたが、今回はどちらと見えないが多くなっている。これには、昨今の RI の、財団重視、及び、ルールの柔軟化が影響していると考えられる。

D２）神戸東の未来は明るいと思いますか

在籍 20 年くらいまでは。明るい未来を思い描き、30 年を超えるあたりから悲観的になっている。クラブ歴の長い会員ほど、クラブの自主性や職業奉仕重視の考え方が強い。特に古い会員ほど、ロータリーとは社交クラブであり、クラブで奉仕するところではなく、奉仕をするロータリアンを育てる場という、先達から教え込まれたロータリー感があり、財団重視の方向返還に違和感を抱いている。

D３）RI 主導のロータリーはこれで良いと思いますか

在籍 10 年以上の会員にいいえが多いのは、D2）で書いた内容と同じ理由と考えられる。過去を知らない最近入会した会員にとっては、今の RI の方向性が当然の流れであり、違和感が少ないと思われる。

D４）神戸東 RC はこれで良いと思いますか

我がクラブが会員が入会する理由に挙げている内容を満たしていることがはいを多くしていると考えられる。また、他クラブに比較し、奉仕活動や同

好会活動も活発に行われており、楽しいクラブであるということもよい評価につながっていると考えられる。

しかし、以前の設問の回答でクラブ歴の長短で回答のばらつきがみられるので、今後は世代間の融和に努める必要がある。

Ｄ５）神戸東 RC 地区ガバナー輩出に賛成しますか

一度ガバナーを輩出すると、クラブの総力を挙げて地区運営あたるので、ある意味みこしを担ぐお祭り状態になる。これはクラブ会員の一体感の共有には大変貢献することが会員全般によく理解されている。ガバナー輩出から年数がたつにつれてその記憶が薄れ、あえて火中の栗を拾わず状態になる。2019 年の回答が久野ガバナー直後の 2013 年よりもいい絵が増えているのはこのように解釈できる。

Ｄ６）ロータリー情報をもっと知りたいと希望する

現在ロータリー関係の情報は、その気があればWEB ページからほとんどの内容を調べることが出来る。今まで、委員会が担当月に卓話をしたり、R 情報委員会などが情報を会員に伝えていたが、それがどこまで各会員の知識として残ったかは疑問である。地区委員への参加、クラブ協議会へのオブザーバー出席、理事会議事録の閲覧などを通じて会員自らが情報を取りに行く姿勢が必要かと思われる。

Ｄ７）ロータリー情報を希望する理由

在籍 20 年までは地区地域情報を、30 年を超える会員は哲学思想を上げている。後者は RI の方針変更の中でクラブのあり方について考えるための情報を必要としていると思われる。

Ｅ　職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に関すること

Ｅ１）職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に関すること？

Ｆ　クラブと地区のかかわり合いに関すること

Ｆ１）積極的に地区委員 / 地区委員長を送り出すべき

クラブ在籍の長い会員に否定が多くなる。これはクラブと地区の関係の変化に理由があると思われる。以前はクラブが主体であり、クラブが RI と直結であるということであった。財団重視の方針返還と共に地区が RI の出先機関のような役割を担うようになってきている。在籍の長い会員ほど地区委員について否定的な意見が増えるのはこのような理由と考えられる。2013 年に肯定的な意見が多いのは、当クラブからガバナーを輩出した直後であるからと推測される。

Ｆ２）地区委員や地区委員長を委託されれば受けますか

いいえと何方とも言えないという回答が多い。在籍 10 年未満の会員に肯定的な回答があるのは心強い。

Ｆ３）積極的にガバナー補佐を送り出すべき

ガバナー補佐の仕事はグループ内クラブを訪問し、ガバナー方針の実施状況やクラブ運営や奉仕活動内容をガバナーに報告する事である。先の設問に関係するが当クラブが一定期間ごとにガバナーを輩出していくのであれば、戦略的にガバナー補佐も輩出しておく必要があるし、地区委員も出しておく必要がある。

Ｆ４）地区ガバナー補佐を受けますか

在籍が長くなるとその職責の重さを理解しているのか、或いは、自分が指名される可能性が大きくなっていくのを予測しているのかいいえの割合が多くなる傾向がある。

Ｆ５）本クラブが積極的に地区ガバナーをおくりだすべき

全体的に肯定的だが、在籍の長い会員に何方とも言えないという割合が増える。これは今有力な候補者の顔が浮かんでいないことに要因があると思わ

れる。また 2013 年の回答に肯定意見が多いのは当クラブがガバナーを輩出した直後であったからと思われる。

Ｆ６）あなたは地区ガバナーに指名されたら受けますか

当クラブからガバナーを輩出することについて全体的に肯定的である一方、ガバナー候補として指名はされたくはないという結果となっている。ガバナー輩出した折にはクラブが総力を挙げて協力することになるので、求心力のある候補者が望まれる。

Ｆ７）当クラブから地区ガバナーを 7-10 年に一度は輩出すべき

在籍 20 年未満に負担を恐れてのことか反対意見が多い。はっきりとした理由は不明。何方とも言えないという回答が人物次第と言う意味に解釈すると肯定的な意見が多い。2013 年の回答に肯定意見が多いのは当クラブがガバナーを輩出した直後の高揚感が残っていたからと思われる。

Ｆ８）地区に役員を出す理由

回答にはクラブ内の結束、地区でのリーダーシップ、が多い。RI が財団を通じた資金集めと地区補助金を利用した奉仕活動を推奨している現在、RI の方針の理解や他クラブの動向を知る為には地区に出ている事が有用となる。またガバナーを定期的に輩出するのであれば、一定の地区役員を輩出して置くことが必要となる。

Ｇ　理想的なロータリークラブとはに関すること

Ｇ１）あなたにとって理想的なクラブとは

会員の連帯感、安らぎ、前向きという項目が多く選ばれている。ロータリークラブは社交クラブであり、選ばれた会員が普段の付き合いの中で良い関係を築いた上でお互いが切磋琢磨し、その中で前向きな奉仕活動を行っていくことが理想と考えられる。

詳細は、須藤会長エレクトの分析を期待し、神戸東 RC の益々の発展を祈って稿を閉じさせて頂きます。

神田　孝平

－神田歯科医院－

この度、平成 31 年（2019 年）1 月 8 日に吉田建美会員、三原孝公会員のご紹介でこの歴史と伝統のある神戸東 RC に入会させて頂きました、神田孝平です。

私の自己紹介をさせて頂きます。

昭和 29 年（1954 年）2 月 2 日京都市下京区にて生まれ、昭和 54 年（1979 年）3 月大阪歯科大学を卒業するまで京都で過ごしました。

小学校は京都市立有隣小学校で、その後私立洛星中学校、洛星高等学校を卒業しました。大学卒業と同時に、父の出身地が兵庫県津名郡北淡町（現在の淡路市）ということもあり、昭和 54 年（1979 年）神戸に出て参りました。神戸元町の関本歯科医院（院長は当クラブの関本 剛会員の父上）に勤務医として約 2 年間お世話になりました。

その後、昭和 56 年（1981 年）3 月 神戸市東灘区深江北町に神田歯科医院を開設し現在に至っておりますが、本年 3 月で開業 38 年を迎えました。

現在の家族は妻と二人暮らしです。子供は一女をもうけましたが既に嫁いでおりますが、その娘とは毎日一緒に診療所で仕事をしています。

趣味は中学、高校、大学と続けていたサッカーの影響で身体を動かすことが好きでゴルフも少々しますが、なかなか上達はしません。また、全般的にスポーツは好きで、どのようなスポーツでも観戦にはよく出かけます。現在はとりわけ甲子園球場での野球観戦によく出かけます。また、4 ～ 5 年前から合唱団に所属し、週一回程度の発声を楽しんでおります。毎年 12 月には“第九”の合唱に数回出演しています。

ロータリーについてですが、平成 2 年（1990 年）7 月 2 日に神戸東灘 RC に入会させて頂きました。以来 28 年 1 か月皆出席を続けておりましたが、わけあって平成 30 年（2018 年）7 月末日で退会しました。その後ありがたい事に 3 ～ 4 のクラブから入会のお誘いを受けましたが、もう二度とロータリーのバッチを着けることも無いだろうと思っておりました。ところが昨年の秋 神戸東 RC からお誘いを受けました。思ってもみなかったことですが、とりもって頂いた方とのご縁も感じ、悩んだ末に入会をする決心をしました。

神戸東 RC の創立は 1954 年で今年 65 周年を迎えますが、正しく私の年齢と同じです。また、RI の承認が 4 月 12 日でこの日は私の妻の誕生日にあたります。また、その妻の名前が“むつみ会”と同じ“睦美”と申します。なにか不思議なご縁を感じています。

今後はこのご縁を大切に、これまでの経験を活かしながら、以前にも増してロータリーライフを楽しみながら、いろいろな事にチャレンジし奉仕活動にも取り組んで行きたいと考えています。少々 年齢のいった新入会員ではありますが、会員の皆様の温かいご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

小林　一也

ー小林コーポレイションー

１．生い立ち

昭和30年2月23日生まれの64歳です。お気付きかもしれませんが、次期天皇陛下の誕生日と同じで来年からは私の誕生日は国民の祝日になります。是非皆さんも祝ってください。もう一つ忘れてはいけないのが、2月23日はロータリークラブ発足の日だということです。これも何かの縁かなと思っています。

私は神戸生まれの神戸育ちです。東灘区のJR摂津本山と阪急岡本の間を東に行った所に住んでいます。大学時代に東京に6年、就職してから坂出に4年弱、ロンドンに1年住んだことがあります。

大学卒業後は川崎重工業に入社しました。船の設計や開発を行っている技術本部という部門で本部長を6年務めた後、川重マリンエンジニアリングという子会社の社長をやり、昨年の6月に退任しました。

今は10年ほど前に作った小林コーポレーションという会社の代表取締役をしています。会社といっても、親から引き継いだ土地やアパートの管理会社で、時間的には完全にフリーになりました。

２．仕事

川崎重工は6つのカンパニーからなっています。船舶の他に航空機、車両、オートバイ、ロボットなどがあります。

船舶海洋カンパニーでは、LNG運搬船、コンテナ船、オイルタンカー、J/F、潜水艦等を建造しています。長さ300m幅60mほどで、ゴルフ場でいうと短めのミドルホール、もしくは東京タワーを横にして海の上を走らせるというイメージです。

船舶は受注生産なので、毎回白紙の状態から船を造り上げていくという作業になり、なかなか面白い仕事に就くことができたなと思っています。

川崎重工は早いタイミングで中国に合弁の造船所を造ったので当初は結構利益を揚げていたのですが、中国もだんだんと給料が上がってきて競争力がなくなってきました。

そこで、次はブラジルに造船所を造ろうということになって、ブラジルの大手の建設会社と一緒に造船所建設を始めました。しかし、ブラジル人というのは日本人と全く反対の国民性を持っていて、例えば会議の開始時刻にきちんと集まる人間はいません。向こうにしてみれば当然のことなのでしょうが、造船所建設は計画通りに進まず、そんな時にブラジルの大統領まで巻き込んだ贈収賄事件が発覚し、合弁先の企業も関与していたため計画は頓挫し撤退することになりました。

色んな事がありましたが、個人的には多くの経験をすることができ有益で楽しい会社生活だったと思っています。

３．家族

家内と娘が二人います。長女は医者で結婚して去年の9月に子供ができました。道を隔てた向かいの家に長女夫婦が住んでいる事もあって、今は初孫に振り回されているという状況です。

次女も医者で、今年の5月に結婚する予定です。結婚式の打ち合わせ等でこちらも忙しくしています。

４．趣味

花屋敷GCのメンバーでHCは22です。去年の前半は調子が良かったのですが、その後スランプで今年に入ってから100を切れないという状況です。どなたかこのスランプから抜け出す方法を教えて頂けたらと思っています。

もう一つの趣味は旅行です。先々週も入会させて頂いた次の週の例会をさぼって、マルタとシチリアに行ってきました。次女の結婚前の家族旅行です。マルタ島というと日本のガイドブックでは猫の島という紹介をされていて、家内と次女は楽しみにしていた様ですが、見かけた猫は5，6匹でした。ガイドさんに聞くと、人口と同じぐらいの猫がいるとか書いてあるようだがそんなにいたらそこら中猫だらけになってしまいますよ。と笑われてしまいました。

とりとめの無い話ばかりでしたが、今後ともよろしくお願いします。

髙橋　惠信

－善光寺－

こんにちは。今年1月8日、初釜例会より角田会員、三原会員のご推薦をいただき、この伝統ある神戸東ロータリークラブへ入会させていただきました髙橋惠信と申します。御覧の通り（法衣にて自己紹介）私は寺の住職です。灘区の桜ヶ丘町にあります善光寺という寺です。

宗派は比叡山延暦寺を本山とする天台宗です。年齢は52歳です。1966年、昭和41年12月12日の生まれですが、この1966年昭和41年という年はいろいろな面でエピソードの多い年です。ビートルズが来日した年でもありますし、又よく言われるのは干支が丙午だということです。午年は12年に一度めぐってまいりますが、丙午は60年に一度でこの年に生まれると特に女性は不幸な人生を送るとされており、そのような理由から他の年に比べて極端に出生率が低く、人数が少ないのです。そんなことから何をしても「人数が少ないから有利だね」とよく言われましたが、そんなこと全く関係ないと思うのですが。それから女性が不幸になるといいましたが、私と60歳年上の丙午であった祖母は平成12年に他界しましたが95歳まで生き、まったくもって幸せそうな感じでしたからね。

震災でお寺が一部を除いて全壊し、大変な思いをしての95歳ですから、それがなければもっと長生きしたかも知れません。

そのような丙午の生まれということと、12月12日、これ何の日かご存じですか？

「泥棒の日」と言われています。天下の大泥棒、石川五右衛門がかまゆでの刑に処された日なのです。何か私の誕生日はあまり縁起が良くないようですね。

まあそんなこんなで無事生まれてきたわけですが、生まれたのは中央市民病院、布引のいまANAクラウンプラザホテルがある所ですね。大学時代あそこにあるオーパ（まだ新神戸オリエンタルホテルでしたが）のカジノ風のゲームセンターへ通っていたのも生まれた場所ということで居心地が良かったのでしょうか。

その後、幼稚園、小学校と進み、昭和54年甲南中学へ入学、お世話になることとなりました。そして甲南といえばテニスだと思い、早速入部しましたが想像をはるかに超える厳しさであえなく離脱、退部をしました。しかし夏休み明けまでは頑張ったんですよ。

さて、テニス部をやめた私ですが、それでもテニスが好きだったので友達とよくコートを借りてテニスはしていましたが、そのころ私の趣味として一つ加わったのが音楽でした。

歌謡曲などは小学校のころからテレビでよく見ていましたが、レコード店へ行って友達とあれやこれやと色んなバンドのレコードを物色しお気に入りを探し当てるのはこの上ない喜びでした。ジャンルはハードロックでした。ロックを聴いているうちにギターに目覚め、ギターを始めて1か月後くらいには2つか3つくらいのバンドを組んでいました。

それからというもの明けても暮れてもギター、そしてバンド三昧。挙句の果てにはプロになろうとオリジナル曲を書いてオーディションを受けたこともあります。そこまでプロにこだわったのは、実はお寺を継がなくてもいいかも知れないという思いが何処かにあったのかも知れません。

その後甲南大学の経済学部に入り、音楽に明け暮れた日々から少し普通の大学生らしくなれたのは神戸東ローターアクトへの入会でした。その数年前に父が神戸東ロータリーに入会させて頂いたのがきっかけでした。

実は神戸東RCがまだ国際会館で例会をされていたころ、「音楽で世界をつなぐ」と題してバンド演奏をさせていただいたこともあるんです。懐かしい思い出です。

そして大学を卒業して比叡山へ2年間の修行に参りました。般若心経も作法も全く何も知らないで山に入りましたが寺を継ぐためにつらさに耐え頑張りました。修行内容はまたの機会にじっくりとお話しさせて頂けたらと存じます。

平成10年に結婚、12年に長女、14年に長男を授かりました。

長女は小学校から甲南でお世話になっており現在、甲南女子大学2年。長男は幼稚園から甲南で現在高校2年です。昨年末まで当クラブでお世話になった父とそれから母。二世帯の住まいになっておりますが、全員で6人家族ということになります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

田島　勝也

ーキリンビール　神戸支店ー

2019年2月19日、伝統と格式のある神戸東ロータリーに入会させていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

早速ではございますが、私の履歴をご紹介いたします。

昭和42年（1967年）3月27日生まれ。A型。小学校2年生から地元のスポーツ少年団に入り、夏は水泳、冬はスケートや登山、年間を通して野球。わんぱくスポーツ小僧でした。

出身は、福岡市博多区吉塚で実家は酒販店を経営しておりました。

博多駅から徒歩15分位の下町です。朝から、角打ち（立ち飲み）も営業しており、夕方になると家族総出で、店を手伝っておりました。お客さん同士の喧嘩も多く、近くの交番に助けを求めに行くのも、私の仕事の一つでした。

そういった環境の中、私の将来を心配した父親が判断し、中学から6年間、高知県の全寮制、明徳義塾に入学したわけです。とにかくびっくりする程、田舎で高知駅から車で約1時間。須崎市浦ノ内、山の奥地に所在。朝は6時から点呼、グランドでの朝礼、国家校歌斉唱。軍隊並みの行進でびっくりする事ばかりです。

部屋は、6人制で中学1年～高校3年で構成。中学1年生は先輩のマッサージ、洗濯、掃除、先輩からいびられ、耐え切れず3度も脱走。頭の上に短パン、Tシャツ、靴と懐中電灯を巻き付け、真夜中に浦ノ内湾（約2キロ）を泳いで必死で逃走しました。途中何度も溺れそうになり、もう駄目かなと思いましたが、ここで諦めたら、そこには死しかありません。誰も助けてくれる人もいません。必死の思いで何とか岸にたどり着き、何時間もヒッチハイクでトラックを止めて、高知駅。改札で、怖い明徳の先生に捕まり、また戻される連続でした。

「粘り強く根性と忍耐力」ここで私の人間形成は作られたと感じます。また「嫌な事から逃げても追っかけられる。乗り越えなくてはならい。」と体験した気がいたします。今でも思い返せばぞっとします。明徳時代は、6年間バスケット部。高校3年の時に国体選抜メンバーに選ばれました。

高校を卒業後、明治大学農学部畜産獣医学科に入学。将来獣医になりたくて、入学しましたが卒業後、専門獣医大学院に行かないと成れない事と資金的に厳しく断念。

卒業後は、1989年キリンビール社とシーグラム社の合弁会社キリンシーグラム（株）京都支店に入社。洋酒、ワインの専門会社です。

京都で8年、横浜4年半。2003年上記2社が合併。2004年キリンビール首都圏営業推進部に転籍。2013年京都支店。2018年10月神戸支社。会社人生30年で京都、横山、東京、神戸と4場所。勤務先に恵まれたな。と心より感謝しております。

この度ご縁があって、お洒落で世界の貿易港神戸で働かさせていただく事、誇りに感じております。神戸、兵庫県の皆様にキリン商品を通して、少しでも地元の方に貢献ができればと考え仕事に取り組んでおります。

「世のため人のため、お客様の事を一番に考え、お客様から必要とされる会社・信頼される社員。＜やっぱりキリンやな。＞と言っていただきたい。お客様と夢を追える、一緒に共感できる存在になりたい。」と考えております。お客様から必要とされなくなると、企業の存続ができないと思います。

また次世代を担う若手メンバーが夢や希望を託せ、存続できる会社を目指して奮闘しております。

どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

▲２月 26 日「働き方改革の中、個を活かす経営を目指して
～今、職場に求められる承認の重要性～」
社会保険労務士　橘　　雅　恵　氏

▲３月５日　「カンボジア VTT プロジェクトについて」
国際奉仕　松谷委員長・後藤副委員長

▲３月 12 日「トビタテ！留学 JAPAN　日本代表プログラム」
成果と可能性
平成版 “ 岩倉使節団 ” 文部省初の官民協働事業
文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト
プロジェクトディレクター補佐　荒　畦　　悟　氏
関西学院大学経済学部４年（2019 年現在）
半　井　翔　太　氏

▲３月 26 日　職業奉仕「私の珍プレー迷プレー」
鮑　　悦　初　会員

▲４月２日「蜘蛛の糸」～後日談とロータリー～
久　野　　薫　会員

▲4月9日　創立 65 周年記念パネルディスカッション
（65 年を経てさらなる飛躍を！）
澤田会長、須藤会長エレクト、吉井直前会長
コーディネーター　大澤創立 65 周年記念事業副実行委員長

▲５月７日「現在の少年を取り巻く状況について」
弁護士　田　中　賢　一　氏（伊丹 RC）

▲５月 14 日「企業の社会的責任と職業奉仕（CSR の理念とロータリー）」
RI2680 地区　バストガバナー
安　平　和　彦　氏（姫路 RC）

▲５月 21 日　「白内障治療、近視矯正治療について」
レイ眼科クリニック　松　本　　玲　氏

▲６月４日「臨時総会」

▲６月４日「アルティーのお話」
関　本　　剛　カウンセラー・鈴　木　祐　一　会員
ヴァレリア　アルテアガ　さん（2018~19 年度青少年交換長期来日生）

▲６月 11 日　「歴史的建築物のリノベーションを考える」
京都工芸繊維大学　助教　笠　原　一　人　氏

▲６月 18 日「上方創作落語」
桂　　文　喬　氏

余韻会　（俳句同好会）

平成三十一年二月七日

於　西村屋　花みかげ

浅春の静かな光波に浮く　奥田　好子

淡路島霞の中に遠ざかり　執行　執艸

鶯の一番のりに空晴れる　塚本　宗哲

初歴ながめて誓ふ今年こそ　畑崎　青峯

春浅し診察室の寡黙かな　壺井　仙岳

山隠す靄立ちのぼり春浅し　松谷　泰山

白い山灰色の街春浅し　関本　剛紀

園児の輪跳ぶやはねるや雪遊び　松原　氣宏

浅き春戻り初めたる庭の彩　村野　離翔

眼に近く身には遥けし浅き春　橘　恵子

余韻会　（俳句同好会）

平成三十一年三月七日

於　西村屋　花みかげ

仰ぎたる風の余白に枝垂梅　奥田　好子

遠来の友を迎へて山笑ふ　執行　執艸

白梅のそこはかとなき香りかな　角田　伯堂

淡路島スケッチブックに春の海　則岡　弘士

初午や二礼二拝喜寿祝ふ　塚本　宗哲

春寒の棚田に小さき動くもの　壺井　仙岳

香り立つ梅の花にも雨しづく　松谷　泰山

空青し残雪惜しむウオーキング　松原　氣宏

山頂に人影のなし残る雪　村野　離翔

肩すくめ道行く人や春寒し　飯田　美音

地虫出づ驚きながら庭仕事　橘　恵子

余韻会　（俳句同好会）

平成三十一年四月四日

於　西村屋　花みかげ

咲く迅さ色づく迅さ水温む　奥田　好子

町並みも山裾目指し山笑ふ　執行　執艸

茅渟海照り返し受け山笑ふ　角田　伯堂

春めきし明石海峡潮速し　則岡　弘士

青き踏む雑草よりも我強し　塚本　宗哲

川底に魚影残して水温む　壺井　仙岳

改元の令和に弾む四月かな　松谷　泰山

気がつけば弾むステップ水温む　早馬　希閃

入選の夢を追ひかけ野に遊ぶ　松原　氣宏

水温む山湖に波紋二つ三つ　村野　離翔

一湾を抱くが如く山笑ふ　橘　恵子

余韻会　（俳句同好会）

令和元年五月十日

於　西村屋　花みかげ

み吉野の一望の黙花雲　奥田　好子

風光る若き郵便配達員　執行　執艸

連子窓かすめ飛び行く黒揚羽　角田　伯堂

蝶の舞ふ上下左右でありにけり　則岡　弘士

東灘だんぢり祭令和ゆく　塚本　宗哲

絵馬重ね祈り重たき花曇　壺井　仙岳

山門の若葉輝く子等の声　松谷　泰山

仰ぎ見る勝利の校旗風光る　吉井　聖倖

風光る母校を抱く伯母野山　関本　剛紀

見えるもの見えないものも風光る　松原　氣宏

風に乗り来て初蝶の風に去る　村野　離翔

絵と文　宮　　昭久

「初夏の由良」

初めての風景画、初めての鉛筆画、初めての思い、初めて描くことへの喜びを貰えた作品です。
昨年の初夏､晴天で穏やかな風と心地よい日でした。ふとこの風景を描きたいと思い､何枚か描き直しながら真夏が過ぎ、秋、冬、そして春、描き終えることができました。絵の続きを書きたい、描きたい、そんな思いにさせられ、いつも風景を見ながら描いた作品です。このような初めての思いにさせていただけたのも「東彩会」のお陰と感謝いたしております。

CONTENTS

3 役退任挨拶 …… 1
創立 65 周年記念式典・祝賀会 …… 4
創立 65 周年記念　奉仕プロジェクト
「上地結衣さんと車いすテニスを楽しもう！」…… 5
カンボジア VTT プロジェクト …… 6
第 2 回会員親睦会 …… 7
第 24 回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭 …… 9
創立 65 周年記念アンケート調査 …… 10
新会員自己紹介…… 15
例会スナップ…… 19
余韻会…… 21

編　集　後　記

澤田会長年度、最終の会報第 3 号をお届けさせていただきます。

1 年間ご協力いただきましたすべての皆様に大変感謝申し上げます。

至らぬ点も多々ありこの場を借りてお詫びさせていただきます。

広報は企業活動においても大変重要な役割をしていると常々考えております。

誰に対して何をどう伝えるのかが、重要だと思います。

この 1 年間の会報がそのようなものであったかどうかは、読まれた方のご判断にゆだねたいと思います。

1 年間ありがとうございました。

広報委員長　　小谷哲也

・発行日　2019 年 6 月 29 日　・発行　神戸東ロータリークラブ　神戸市中央区波止場町 2 - 1（ホテルオークラ神戸内）